

事務事業名	青少年健全育成連絡協議会運営支援事業				担当	教育委員会 生涯学習課 女性青少年係	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名		
施策名	3	青少年の健全育成			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成3年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
法令根拠	市補助金等交付規則						
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4. 社会教育費	1. 社会教育総務費			
事業概要	青少年の健全育成を目指し、「青少年が心豊かにたくましく育つ都市宣言」（平成5年3月）の推進と会員相互の連絡協力を図る。 ・連絡協議に関する会議の開催 ・宣言の普及徹底 ・青少年を取り巻く環境の情報収集、情報交換 ・その他目的達成に必要な事項連絡協議会構成団体 構成員：市内小学区（14区）の会長及び副会長（平成30年度より統廃合により18区から14区）、市内小中学校長、市内県立高等学校長代表及びPTA会長代表、真岡市自治会連合会会長、真岡市子ども会育成会連絡協議会会長、真岡市PTA連絡協議会会長、芳賀地区幼稚園PTA連合会会長、ボーイスカウト真岡第1団育成会会長、ガールスカウト栃木第28団育成会会長、真岡市少年指導員会会長、真岡市保護司代表、栃木県青少年育成指導員						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 総会（1回）、役員会（3回）、先進地視察【栃木さくら市の国立きぬ川学院（児童自立支援施設）】を実施。また、市内14小学校区連絡会への補助金交付、社会を明るくする運動への参加、「こども110番の家」看板の管理運営 2年度計画 31年度と同様。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
	ア	総会、役員会の数	回	5	4	4	4	4	
	イ	補助金額	千円	1,873	1,873	1,553	1,553	1,553	
	ウ	「子ども110番の家」の看板数	件	1,386	1,368	1,314	1,325	1,320	
エ	小学区連絡会数	箇所	18	18	14	14	14		
オ									
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 青少年健全育成連絡協議会	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
	ア	各小学区連絡会員数	人	9,908	9,427	9,781	9,690	9,690	
	イ								
	ウ								
エ									
オ									
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 連絡会の連絡協力を図る。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
	ア	市内小中高校生の数	人	9,458	9,334	9,331	9,240	9,240	
	イ								
	ウ								
エ									
オ									
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 青少年の健全育成	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
	ア	青少年の地域活動に参加している市民の割合	%	6.5	7.4	5.3	6.0	6.0	
	イ	（市民意向調査）							
	ウ								
エ									
オ									
(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	1,873	1,873	1,553	1,553	1,553
	事業費計(A)		千円	1,873	1,873	1,553	1,553	1,553	
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
			延べ業務時間	時間	160	160	160	160	160
			人件費計(B)	千円	664	664	667	647	647
	トータルコスト(A)+(B)		千円	2,537	2,537	2,220	2,200	2,200	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	市内14学区の青少年健全育成連絡会の連絡協力を図り、統一された青少年の健全育成運動が展開できるようにするため。（平成30年度より統廃合により市内18区から市内14区に変更）
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成9年度に「市青少年健全育成連絡協議会」と「青少年が心豊かにたくましく育つ宣言都市推進委員会」が合併し現組織となった。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 青少年が心身ともに健やかに成長を成し遂げていることは、市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 青少年が健やかに成長できる環境づくりに結びついている。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 対象は、市内14小学区を通じ全域を網羅しており適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 14小学区の連絡協議や青少年の健全育成が図られている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 各地区青少年連絡協議会との連絡協議が図れない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 単位連絡会への事業補助であるので削減はできない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 会議開催、補助金等の交付事務のための必要最低限の人数である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市内全域の14小学区の連絡会から負担金を徴収している。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							